

第16回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の概要

1 日 時 令和6年10月29日（火）13：30～15：00

2 場 所 富山県民会館8階バンケットホール

3 内 容

(1) 表彰式

(2) 議 事

ア 富山県食品ロス削減推進計画の見直し（素案）について

イ 意見交換

4 主な意見の概要

<計画素案>

- ・ 食の環についても総論で触れたほうが良い。
- ・ 過剰除去について記載したほうがよい。
- ・ 子どもたち、親に向けてのことをいれてほしい。
- ・ 実行に向かうような内容の、計画のダイジェスト版がほしい。

<事業系食品ロス>

- ・ 取組みの成果を「見える化」して具体的に発信していくことが重要。
- ・ 商慣習見直し宣言事業者の数が少ない。今後増えていくとよい。
- ・ 食べ残しの持ち帰りについて、安易に持ち帰って食べられないことがないか懸念している。

<家庭系食品ロス>

- ・ 消費者庁の食品ロス削減推進サポーターを活用してほしい。

<食品ロス全般>

- ・ 若い世代への効果的なアプローチが必要。啓発だけでなく小さいころから体験を伴うようなことが必要。
- ・ 学生参加型のプロジェクトチームを考えてもよいのではないか。
- ・ 食品ロスの内容をいろいろなメディアを通じて若い人に伝えていかなければいけない。

- ・ 食品ロスの重点課題を何に絞るのか検討したほうが良い。
- ・ コロナ前は 3015 運動をやっていたが、最近は行っていない。気を引き締めてやっていきたい。
- ・ 学校のカリキュラムの中に食品ロスを取り組んでいくことが大事。

<未利用食品の有効活用・再生利用>

- ・ 登録再生利用事業者の認定制度を活用してリサイクル化を進めてほしい。
- ・ 市町村の一般廃棄物処理計画の中に食品リサイクルの推進を入れていくことが必要。
- ・ フードシェアリングサービス等の事例もある。規格外野菜の有効活用をしていくべき。
- ・ 他県では食品メーカーが集まって子ども食堂に食品を提供する動きがある。富山県もチャレンジしてみてもよいのでは。